

令和5年度 幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価

作成日

令和6年3月6日

法人名

園名

学校法人仏光学園

認定こども園ぶっこう幼稚園

まとめ

全体平均

3.57

第2章第2節 乳児期の園児の保育	月齢幅のある子ども一人ひとりの生活リズムを考えながら、クラス全体の日課を組み込み、愛情豊かに安定した生活を送ることが出来た。季節や行事、子どもの発達に合わせた保育環境を整えるよう、年間を通し努めた。保育時間の長い子どもが多い為、午睡後から保護者のお迎えまでの過ごし方や子どもが体を休められる場所の確保などが必要になってくると考える。
第2章第3節 満1歳以上満3歳未満の園児の保育	自我が芽生え、自分の欲求や主張をするこの時期の子ども一人ひとりの気持ちを受け止め、応答的な関わりに努めた。発達に合ったルールのある遊びや玩具、絵本を通じて友だちなど身近な人と気持ちを通わせられるよう保育をすすめた。異年齢同士のふれあいを持てる時間が少なかった為、午後からの合同保育に入る時間の検討が必要である。また、年間を通して玩具の棚卸を行い、コーナー保育の充実など更なる環境整備をする必要がある。
第2章第4節 満3歳以上の園児の教育及び保育	運動会や音楽会の取り組みの中で、理解する力や経験に個人差が見られることはあるが、その子なりの頑張りを認める事で友だちを認めたり、自信を持って活動に参加できるように関わってきた。言葉で気持ちを伝える事を大切にし、伝え方を一緒に考えたり、相手の気持ちに気付くような声掛けを心掛けてきた。自分のイメージを言葉や動きで表現出来る機会を作ったり、地域の交流を増やして興味や関心を広げていきたい。
第2章第5節 教育及び保育の実践に関わる配慮事項	安定した一日が過ごせるよう担任だけでなく、多くの人々の温かいまなざしの中で子どもに寄り添い、見守っていくことを大切にしている。状況が様々である家庭や保護者一人ひとりの気持ちに配慮し、送迎時の会話や毎日のノートなどで信頼関係を築くよう努めた。午睡時、更なる安全な環境を整える為、窒息リスクの除去（顔色チェック、明るさの確保、触診、うつぶせ寝など）再度、職員間で認識の確認をする必要がある。
第3章 健康及び安全	日々の保育での一人ひとりの体調の変化を見逃さないよう、看護師を中心に園児の健康支援に努めている。保育室の衛生管理、定期的な遊具の点検は行えている。安全管理に対しての意識は個人によりバラつきがある為、全職員の共通理解の必要がある。また食育に関してまだ積極的に行っていない為、園全体で話し合い取り組んでいく必要がある。
第4章 子育ての支援	日頃から子ども達の園での様子を伝えたり、保護者の不安な気持ちを受け止めながら共に成長を見守り、信頼関係を構築してきた。クラス担任はほし組の園児の保護者と直接話す機会が少なくなってしまう為、ほし組の職員と子どもの気になる様子を共有しながら保護者に伝えてきた。しかし職員の入れ替わりもある為、うまく伝わっていなかったり課題もある。園庭開放では、コロナの制限がなくなり参加人数が増えてきているので、園児との交流も増やしていきたい。
第5章 職員の資質向上	職員はそれぞれ研修に参加し、そこで得た知識や技能を保育内容に取り入れるなど、自己研鑽に努めている。また同僚同士では自分の持つ知識や研修内容を共有したり、助言したりする姿が見られ、質の向上に繋がっていると感じる。しかし、全体で研修を行ったり、個々が参加した研修内容を発表したりする場がなく、個人の持つ技術や知識を園全体の保育に活かす機会がない。職員の資質を活かせる環境づくりが今後の課題である。
総合	子どもの年齢・発達状況・家庭環境などに配慮しながら、毎日の保育を進められた。看護師やパート職員を含む全ての職員が、子どもたちが安心して生活出来る様に、その気持ちに寄り添い、思いを受けとめる様務めている。また友だち同士のコミュニケーションが円滑に進む様、自分の気持ちを適切な言葉で伝えられる様促してきた。子どもたちも保育者や友だちに親しみを持ち関わる姿が見られる。幼児クラスでは、教育標準時間終了後には担当が変わるため、伝達事項がうまく伝わらなかつたり見落とすことがあり、職員同士の連携をより強くする必要がある。衛生管理、安全管理など担当者は適切に行えているが全職員での共通理解が出来ていない事柄や個々の学びで得られた知識や技術について、どう周知・共有するか今後の課題である。

データ表

内容	項目数	平均
「乳児保育」	15	4.00
「3歳未満児保育」	32	3.81
「3歳以上児保育」	53	3.43
「教育保育の配慮事項」	16	3.88
「健康・安全」	29	3.48
「子育ての支援」	16	3.20
「職員の資質向上」	9	3.11
計	170	3.57

データグラフ

